

樹梢霧海に

(昭和四十三年寮歌)

新橋登君 作歌

佐藤菊男君 作曲

一

樹梢霧海に消え入りて
北溟牙城の夏の宵
難攻不落を誇りしも
時凋衰の風強し

二

伝統の石に佇みて
古昔の意気に涙する
秋の今宵の宴にも
貧交行の風寒し

転句

榆陵の二春に宿せる白露の
生命短命にして吉しとする
さにあらば吾等が友よ
久遠なる星に
崇巖に大志を告げるべく
今高らかに誓いけん

三

白雪深き北国に
迪をたずねる旅人よ
朔風如何に荒吹とも
真理の郷は遠からじ

四

いざ寮友ようたわなん
あすの生命を闘うと
万花乱るる春の日に
高遠き大望を目指さんや